世界の男、貴(あて)なるも賤しきも、いかでこのかぐや姫を得てしがな、見てしがなと、音に聞きめでて惑ふ。そのあたりの垣にも、家の門(と)にも居る人だに、たはやすく見るまじきものを、夜は安きいも寝ず、闇の夜に出でても穴をくじり、かいま見、惑ひあへり。さる時よりなむ、「よばひ」とはいひける。

人のものともせぬ所に惑ひありけども、何の験(しるし)あるべくも見えず。家の人どもに、ものをだに言はむとて、言ひかくれども、事ともせず。あたりを離れぬ公達、夜を明かし日を暮らす多かり。おろかなる人は、「やうなきありきはよしなかりけり。」とて、来ずなりにけり。

【問題】　傍線部について、なぜ来なくなったのか、わかりやすく説明しなさい。